

財務諸表に対する注記（法人全体）

1 継続事業の前提に関する注記

.....

2 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価

- ・満期保有目的の債権等：償却原価法（定額法）
- ・上記以外の有価証券で時価のあるもの：決算日の市場価格に基づく時価法

(2) 固定資産の償却方法

- ・建物並びに器具及び備品：定額法
- ・リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と統一の方法によっている。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数として、残存価額を零とする定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

- ・退職給与引当金：.....
- ・賞与引当金：.....

3 重要な会計方針の変更

.....

4 法人で採用する退職給付制度

社会福祉施設職員等退職手当共済制度（独立行政法人福祉医療機構）

5 法人が作成する財務諸表等と拠点区分、サービス区分

当法人が作成する財務諸表は以下のとおりとなっている。

(1) 法人全体の財務諸表（第1号の1様式、第2号の1様式、第3号の1様式）

(2) 事業区分別内訳表（第1号の2様式、第2号の2様式、第3号の2様式）

当法人では、公益事業、収益事業を行っていないため作成していません。

(3) 社会福祉事業における拠点区分内訳表（第1号の3様式、第2号の3様式、第3号の3様式）

(4) 収益事業における拠点区分内訳表（第1号の3様式、第2号の3様式、第3号の3様式）

当法人では、収益事業を行っていないため作成していません。

(5) 各拠点区分におけるサービス区分の内容

ア 本部拠点

「本部」

イ あゆみ拠点（社会福祉事業）

「あゆみ保育園」

「あゆみ学童保育所」

ウ みつとも拠点（社会福祉事業）

「みつとも保育園」

エ へばる拠点（社会福祉事業）

「へばる保育園」

6 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	88,334,400	0	2,339,400	85,995,000
建物	139,815,968	0	3,870,744	135,945,224
定期預金	1,000,000	0	0	1,000,000
投資有価証券	0	0	0	0
合計	229,150,368	0	6,210,144	222,940,224

7 会計基準第3章第4(4)及び(6)の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し

基本金 . . .

国庫補助金等特別積立金 80,889,925 円

8 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

土地（基本財産）	80,145,000 円
建物（基本財産）	135,945,223 円
計	216,090,223 円

担保に供されている債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	46,620,000 円
※あゆみ拠点区分借入金	
計	46,620,000 円

9 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地（基本財産）	85,995,000	0	85,995,000
建物（基本財産）	186,525,074	50,579,850	135,945,224
建物（その他固定）	136,000	41,751	94,249
構築物	6,989,284	6,518,032	471,252
車輛運搬具	3,118,000	3,041,040	76,960
器具及び備品	33,138,397	28,172,065	4,966,332
リース資産	7,320,600	7,320,600	0
無形固定資産	491,400	491,400	14,760
合計	323,713,755	96,164,738	227,563,777

1 0 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

1 1 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

1 2 関連当事者との取引内容

該当なし

1 3 重要な偶発債務

.....

1 4 重要な後発事象

.....

1 5 その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

.....

財務諸表に対する注記（本部拠点）

1 重要な会計方針

（1） 有価証券の評価基準及び評価

- ・満期保有目的の債権等：償却原価法（定額法）
- ・上記以外の有価証券で時価のあるもの：決算日の市場価格に基づく時価法

（2） 固定資産の償却方法

- ・建物並びに器具及び備品：定額法
- ・リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と統一の方法によっている。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数として、残存価額を零とする定額法によっている。

（3） 引当金の計上基準

- ・退職給与引当金：・・・
- ・賞与引当金：・・・

2 重要な会計方針の変更

・・・・・・・・・・

3 採用する退職給付制度

社会福祉施設職員等退職手当共済制度（独立行政法人福祉医療機構）

4 拠点が作成する財務諸表等と拠点区分、サービス区分

当拠点区分において作成する財務諸表は以下のとおりとなっている。

（1） 本部拠点財務諸表（第1号の4様式、第2号の4様式、第3号の4様式）

（2） 拠点区分資金収支明細書（会計基準別紙3⑩）

ア 本部

（3） 拠点区分事業活動明細書（会計基準別紙3⑪）

ア 本部

5 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産はありません。

6 会計基準第3章第4(4)及び(6)の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し

基本金、国庫補助金等特別積立金はありません。

7 担保に供している資産

担保に供している資産はありません。

8 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産を有していません。

9 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

10 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債権はありません。

11 重要な後発事象

該当なし

12 その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

財務諸表に対する注記（あゆみ拠点）

1 重要な会計方針

（1） 有価証券の評価基準及び評価

- ・満期保有目的の債権等：償却原価法（定額法）
- ・上記以外の有価証券で時価のあるもの：決算日の市場価格に基づく時価法

（2） 固定資産の償却方法

- ・建物並びに器具及び備品：定額法
- ・リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と統一の方法によっている。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数として、残存価額を零とする定額法によっている。

（3） 引当金の計上基準

- ・退職給与引当金
- ・賞与引当金

2 重要な会計方針の変更

.

3 採用する退職給付制度

社会福祉施設職員等退職手当共済制度（独立行政法人福祉医療機構）

4 拠点が作成する財務諸表等と拠点区分、サービス区分

当拠点区分において作成する財務諸表は以下のとおりとなっている。

（1） あゆみ拠点財務諸表（第1号の4様式、第2号の4様式、第3号の4様式）

（2） 拠点区分資金収支明細書（会計基準別紙3⑩）

- ア あゆみ保育園
- イ あゆみ学童保育所

（3） 拠点区分事業活動明細書（会計基準別紙3⑪）

- ア あゆみ保育園
- イ あゆみ学童保育所

5 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	80,145,000	0	0	80,145,000
建物	139,815,966	0	3,870,743	135,945,223
定期預金	1,000,000	0	0	1,000,000
投資有価証券	0	0	0	0
合計	220,960,966	0	3,870,743	217,090,223

6 会計基準第3章第4(4)及び(6)の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し

基本金 . . .

国庫補助金等特別積立金 80,170,341 円

7 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

土地 (基本財産)	80,145,000 円
建物 (基本財産)	135,945,223 円
計	216,090,223 円

担保に供されている債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金 (1年以内返済予定額を含む)	46,620,000 円
計	46,620,000 円

8 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

あゆみ拠点合計	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地（基本財産）	80,145,000	0	80,145,000
建物（基本財産）	175,942,900	39,997,677	135,945,223
建物（その他固定）	0	0	0
構築物	6,571,000	6,309,807	261,193
車輛運搬具	2,865,000	2,864,997	3
器具及び備品	21,896,912	19,005,165	2,891,747
リース資産	7,320,600	7,320,600	0
ソフトウエア	189,000	189,000	0
合計	294,930,412	75,687,246	219,243,166

(単位：円)

あゆみ保育園	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地（基本財産）	80,145,000	0	80,145,000
建物（基本財産）	175,942,900	39,997,677	135,945,223
建物（その他固定）	0	0	0
構築物	6,571,000	6,309,807	261,193
車輛運搬具	305,000	304,998	2
器具及び備品	21,004,912	18,113,169	2,891,743
リース資産	7,320,600	7,320,600	0
ソフトウエア	189,000	189,000	0
合計	291,478,412	72,235,251	219,243,161

(単位：円)

あゆみ学童保育所	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地（基本財産）	0	0	0
建物（基本財産）	0	0	0
建物（その他固定）	0	0	0
構築物	0	0	0
車輛運搬具	2,560,000	2,559,999	1
器具及び備品	892,000	891,996	4
リース資産	0	0	0
ソフトウエア	0	0	0
合計	3,452,000	3,451,995	5

9 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
該当なし

10 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
満期保有目的の債権はありません。

11 重要な後発事象
該当なし

12 その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の
状態を明らかにするために必要な事項
該当なし

財務諸表に対する注記（みつとも拠点）

1 重要な会計方針

（1） 有価証券の評価基準及び評価

- ・満期保有目的の債権等：償却原価法（定額法）
- ・上記以外の有価証券で時価のあるもの：決算日の市場価格に基づく時価法

（2） 固定資産の償却方法

- ・建物並びに器具及び備品：定額法
- ・リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と統一の方法によっている。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数として、残存価額を零とする定額法によっている。

（3） 引当金の計上基準

- ・退職給与引当金
- ・賞与引当金

2 重要な会計方針の変更

.

3 採用する退職給付制度

社会福祉施設職員等退職手当共済制度（独立行政法人福祉医療機構）

4 拠点が作成する財務諸表等と拠点区分、サービス区分

当拠点区分において作成する財務諸表は以下のとおりとなっている。

（1） みつとも拠点財務諸表（第1号の4様式、第2号の4様式、第3号の4様式）

（2） 拠点区分資金収支明細書（会計基準別紙3⑩）

ア みつとも保育園

（3） 拠点区分事業活動明細書（会計基準別紙3⑪）

ア みつとも保育園

5 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	0	0	0	0
建物	1	0	0	1
定期預金	0	0	0	0
投資有価証券	0	0	0	0
合計	1	0	0	1

6 会計基準第3章第4(4)及び(6)の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し

国庫補助金等特別積立金は、平成28年度に八女市より譲り受けたみつとも保育園の園舎であり、取得価額は、八女市の試算価額による。取得価額の全部を補助金に計上し、取得価額の全部を国庫補助金等特別積立金に積み立てている。

基本金 . . .

国庫補助金等特別積立金 . . .

7 担保に供している資産

担保に供している資産はありません。

8 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地(基本財産)	0	0	0
建物(基本財産)	10,582,174	10,582,173	1
建物(その他固定)	136,000	41,751	94,249
構築物	418,284	208,225	210,059
車輛運搬具	253,001	176,043	76,958
器具及び備品	11,241,485	9,166,900	2,074,585
リース資産	0	0	0
無形固定資産	302,400	302,400	14,760
合計	22,933,344	20,477,492	2,470,612

建物(基本財産)の取得価額は、平成28年度に八女市より譲り受けたみつとも保育園の園舎であり、取得価額は、八女市の試算価額によります。

9 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

1 0 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
満期保有目的の債権はありません。

1 1 重要な後発事象
該当なし

1 2 その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の
状態を明らかにするために必要な事項
該当なし

財務諸表に対する注記（へばる拠点）

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価

- ・満期保有目的の債権等：償却原価法（定額法）
- ・上記以外の有価証券で時価のあるもの：決算日の市場価格に基づく時価法

(2) 固定資産の償却方法

- ・建物並びに器具及び備品：定額法
- ・リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と統一の方法によっている。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数として、残存価額を零とする定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

- ・退職給与引当金
- ・賞与引当金

2 重要な会計方針の変更

.

3 採用する退職給付制度

.

4 拠点が作成する財務諸表等と拠点区分、サービス区分

当拠点区分において作成する財務諸表は以下のとおりとなっている。

(1) へばる拠点財務諸表（第1号の4様式、第2号の4様式、第3号の4様式）

5 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

（単位：円）

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	8,189,400	0	2,339,400	5,850,000
建物	1	0	1	0
定期預金	0	0	0	0
投資有価証券	0	0	0	0
合計	8,189,401	0	2,339,401	5,850,000

6 会計基準第3章第4(4)及び(6)の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し

基本金 . . .

国庫補助金等特別積立金 . . .

7 担保に供している資産

担保に供している資産はありません。

8 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地(基本財産)	5,850,000	0	5,850,000
建物(基本財産)	0	0	0
構築物	0	0	0
車輛運搬具	0	0	0
器具及び備品	0	0	0
無形固定資産	0	0	0
合計	5,850,000	0	5,850,000

土地(基本財産)は、令和3年度に社会福祉法人辺春福志会(現・飛形福祉会)より譲り受けた旧へばる保育園の用地であり、取得価額は、令和2年度の同法人の期末帳簿価額によります。

土地の一部を売却しました。

車輛運搬具のうち園バス、無形固定資産のうちリサイクル料をみつとも保育園に移管しました。

園舎解体に伴い、土地と上記の2点を除く固定資産は全て除却しました。

9 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

10 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債権はありません。

11 重要な後発事象

該当なし

12 その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし